

「日々の理科」(第2554号) 2021,-7,11
「クロームブックを活用した台風模型(1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

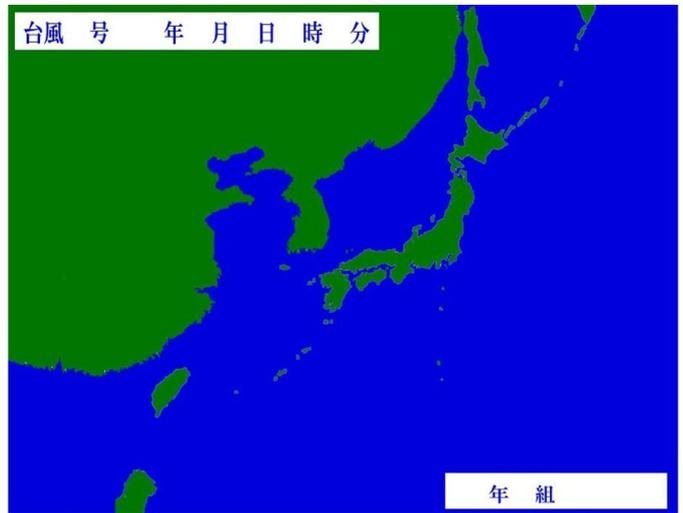
厚紙に貼った日本域の地図に、雲に見立てた脱脂綿を貼って、台風の模型をつくる活動は、今まで5年理科を担当した時に、何度か行ってきた。雲画像(気象衛星やISSからの写真)を詳細に観察しないとできないこと、台風の立体構造…目の周縁部の積乱雲が一番厚いこと…などを理解するのに、効果的な活動だと思っている。



これは数年前の活動の様子である。子どもたちが資料として利用している雲画像は、教科書に載っているもの、新聞の雲画像などで、すべて「紙媒体」だった。ところが、本年度は様相が一変した。



子どもたちには、一人一台のパソコン(クロームブック)が貸与されている。常に専用のキャビネットに充電されていて、授業や創造活動に必要な時に、すぐに使用できるようになっている。今回の活動でもこれが大活躍した。



※2ページ目に印刷用の画像あり

今回も、日本域の地図を用意した。A4サイズで、これを厚紙(板目表紙)に貼って使用する。



最初に私が簡単な説明をした。私は教科書の雲画像を参考に、台風模型をつくる「手順」「コツ」「裏技」などを教えた。この説明はまったくなくても良いのだが、少しコツを教えておくと、格段に仕上がりが良くなる。



子どもたちは、クロームブックを完全に使いこなしている。あっという間に最適な台風画像を探し出し、5分もたたないうちに製作を始めていた。さすがだ!